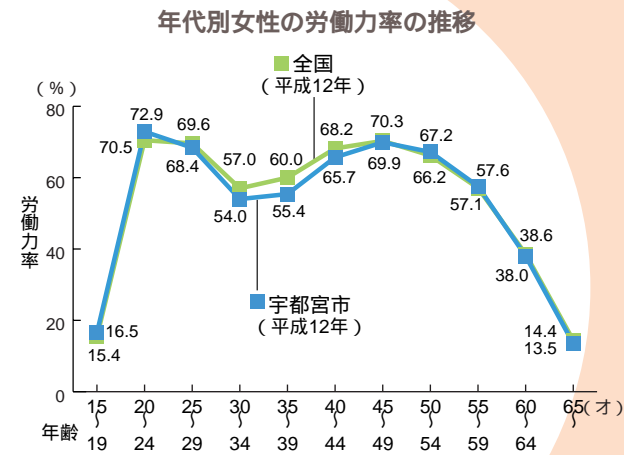


(出所：平成13年男女共同参画に関する意識調査)

男女共同参画社会の実現にあたっては、一人ひとりが家庭生活における活動と職場その他の活動とを両立していくことが重要です。女性の労働力率は、30代前半の結婚・出産・子育て期に低下します。男女がともに職業生活や家庭生活のバランスを見直し、家族的責任を果たすことができるよう、家庭・職業生活の両立支援策を、市・市民・事業者との連携で進めます。また、高齢になっても、あるいは障害があっても、自分らしい、生きがいのある豊かな生活を実現するため、誰もが生き生きと安心して暮らせる環境の整備に努めます。



(出所：国勢調査、労働力調査)

## 基本目標 III

# 男女が共に 生き生きと暮らせる 環境の整備

### 施策の方向と取組むべき施策

- ⑨ 家庭生活とその他の活動の両立を支援する
  - (1) 就労意識の啓発
  - (2) 子育て・介護サービスの充実
  - (3) 地域における子育て・介護支援
- ⑩ 就業の分野における環境の整備を促進する
  - (1) 職業能力開発の促進
  - (2) 再雇用支援の推進
  - (3) 就業環境の改善意識の啓発
  - (4) 起業に対する支援
- ⑪ 高齢社会における生活環境を整備する
  - (1) 高齢期の生活基盤の整備
  - (2) 高齢期の生きがい対策の充実
  - (3) 介護予防の促進
- ⑫ ひとり親家庭、障害のある人が安心して暮らせる環境を整備する
  - (1) ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の充実
  - (2) 障害のある人の生活の安定と福祉の充実
- ⑬ 市民団体と連携し活動を支援する
  - (1) あらゆる市民組織との連携
  - (2) 活動拠点の整備・充実

## 計画の目標値

宇都宮市では、計画を着実に推進していくため、基本目標ごとに以下のような目標値を設定し、男女共同参画社会の実現をめざしていきます。

### 基本目標 に関する 目標値

社会全体において男性優遇と  
感じる人の割合

現状 71.4% → 目標 65.0%

「家事は男女が力を合わせて  
するのが良い」の回答者の割合  
(小学5年生)

現状 47.3% → 目標 60.0%

配偶者等から何らかの暴力を  
受けたことのある女性の割合

現状 44.8% → 目標 減らす

20歳未満の人工妊娠中絶実  
施率

現状 20.2% → 目標 15.0%

在住外国人で困ったときに相  
談できる日本人の知り合いが  
いる人の割合

現状 32.1% → 目標 増やす

### 基本目標 に関する 目標値

ボランティア及び市民活動グ  
ループの代表者の女性比率

現状 43.9% → 目標 50.0%

各種審議会等委員に占める女  
性の割合

現状 21.2% → 目標 30.0%

女性人材リスト登録者数

現状 105人 → 目標 160人



### 基本目標 に関する 目標値

保育所の待機児童数

現状 34名 → 目標 0名

30代前半の女性の労働力率

現状 54.0% → 目標 60.0%

生きがい対応型デイサービスの  
利用により生きがいづくり  
ができた人の数

現状 17,994名 → 目標 48,400名

ひとり親家庭等で就労支援や  
生活支援策等により福祉の増  
進が図られた人の数

現状 76名 → 目標 200名

男女共同参画を推進する市民  
団体主催事業の参加者

現状 1,819名 → 目標 2,000名

上の目標値は平成19年度、保育所の待機児童数のみ平成17年度

## 計画の推進

男女共同参画を 推進するための体制の充実と計画の進行管理を行う

- ・ 市内推進体制の充実
- ・ 宇都宮市男女共同参画審議会の設置
- ・ 情報公開の推進
- ・ 調査研究